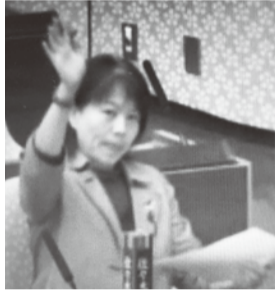


# 神奈川県議会

## 県民局廃止を含む条例改正案が可決 今後も検証を進めます

昨年12月21日、県議会本会議で、県庁組織の再編を進める「神奈川県民局設置条例の一部を改正する条例案」が可決されました。これにより、新たに「福祉子どもみらい局」、「国際文化観光局」が設置される一方で、40年の歴史を持つ県民局は3月末を持って廃止されます。

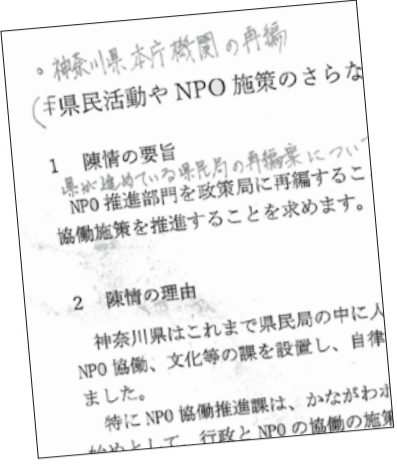
神奈川県民局は、全国の自治体に先駆けて多文化共生の理念を掲げ、人権・男女共同参画、情報公開・広聴、NPO協働、文化施策等を推進してきました。今や、多くの市民やNPOが、環境や福祉、人権、平和、まちづくり、文化・芸術、国際協力と、幅広い分野で活動しています。相次いで起こる人権を踏みにじる事件に対しても、あらためて一人ひとりを大切にする視点を基盤とし、人権施策を総合的に進めることが求められています。県民局の機能を複数の局に移管することで、こうした取り組みが後退することが危惧されます。



神奈川県佐々木ゆみこ県議が条例改正案に対し反対討論を行いました。

神奈川県ネットは、多くの市民団体とともに県議会に働きかけることとし、「かながわ県民アクション連絡会」を立ち上げ、複数の陳情を提出、県民局の廃止について再考を求めるアクションを進めました。陳情提出の際には、議会局職員にタイトルや要旨の修正を求められました。しかし、陳情・請願は市民の権利であり、その内容に職員が口を出すことは明らかに越権行為です。

今回の拙速なプロセスは看過できないものです。また、「なぜ県民局を廃止するのか」というそもそもの問題について明確な答弁がなかったことも残念です。条例改正の影響について引き続き検証していきます。



県職員が修正を入れた陳情文案



陳述を終えたNPO法人WE21 ジャパン藤井あや子理事長(左)と青木マキ横浜市長

### 市民社会チャレンジ基金 ロゴ入りボールペンできました！

神奈川県ネットの市民社会チャレンジ基金は、皆さんからの寄付を原資に、市民社会を強くするチャレンジ性のある活動に対して助成しています。より多くの皆さんに基金を知ってもらうためのカンパグッズとして「神奈川県ネットワーク運動市民社会チャレンジ基金」とプリントしたボールペンを作製しました。ボールペンの売り上げはチャレンジ基金への寄付となります。ぜひご活用ください。問合せ先：電話 045-651-2011 E-mail kgnet@kgnet.gr.jp

**第26期助成団体を決定** 8団体に164万円

NPOによる政策開発	
助成団体	助成金
NPO法人パノラマ	30万円
県内のNPO等立ち上げや活動	
特定非営利活動法人FUN SHINE	20万円
NPO法人きららクリアポート日中一時支援事業所	40万円
エイムワイ	9万円
特定非営利活動法人リンクトゥミャンマー	25万円
さっちゃんち	10万円
NoRa	20万円
NPO法人Wish	10万円

### 県央ブロック 地域のうごき

## 認知症への理解を深めたい 「徘徊ママリン87歳の夏」上映

岩本香苗(ネットさがみはら)

相模原市は、2018年度からの「第7期高齢者保健福祉計画」素案に対するパブリックコメントを12月20日から1月26日まで実施しています。計画策定に先立って、市は要介護1〜5の認定を受けた在宅生活者約4000人を対象に高齢者等実態調査を行いました。報告書によると、「現在抱えている傷病」「介護が必要になった原因」についての回答は、どちらもトップが「認知症」でした。また、2015年度国勢調査から、市内のほぼ10世帯に1世帯が高齢者のひとり暮らしであることが明らかになっています。これからはますます、認知症を理解し、地域で受け入れていくことが求められます。

11月23日、相模原市内のワーカーズ・コレクティブ、生協、NPO等が構成する「コミュニティオプティマム福祉マネジメントユニット相模原」の主催で、認知症をテーマとしたド

### 「徘徊ママリン87歳の夏」

キョメメンタリー「徘徊ママリン87歳の夏」の上映会を開催しました。市内3会場での上映会には、218人が足を運んでくださり、介護を身近に感じてもらったことができました。上映前には活動紹介を行い、生活支援サービスの重要性や参加型福祉についても知ってもらうことができました。

介護保険制度は、見直しの度に給付抑制が進み、生活支援サービスの縮小は在宅生活の継続を困難にしています。来年の制度改定の動向を注視しつつ、地域で参加型福祉を広げる取り組みをすすめていきます。

### 川崎ブロック 地域のうごき

## 宮崎台駅北口ミニフォーラム報告 調査結果をもとに警察署と意見交換

潮崎芳子(ネット宮前)

昨年5月、宮崎台駅を利用している人々と共に「駅前を考える会」を立ち上げ、活動を続けています。駅利用に当たって気になることを出し合い、晴天時、雨天時、朝夕など異なる条件で通行車両の調査を3度実施しました。駅前の道路幅員は5mほどで、車がやっとすれ違える状況です。7時からの30分間に、74台・81台・115台の往来がありました。雨の日には傘と人と車がぶつかり合うほど混雑します。また夕方は送迎のための車が並び、子どもが車の影に入ってしまう等、危ない場面も目撃しました。

12月13日には、宮前警察署を訪ね調査結果をもとに意見交換を行いました。区内では、2015年度の



人身事故はゼロ、2016年度は接触事故が1件発生しているとのことでした。警察としては、「いきなり通行規制を行うことはできない、まずは現地を確認し、路面表示を行うなどソフト面での対応できないか、道路公園センターとも話をしてみる」とのことでした。

今後、私たちも道路公園センターを訪問する予定です。また、交通計画説明会にも参加し安心安全な駅利用に向けて、ミニフォーラムを重ねていきます。

### 神奈川ネットは、 地域政党です。

生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく、多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。

**今月の神奈川ネット**

- 市民社会チャレンジ基金交流会～新春にどう2018：1/16(火)
- 市民の生活・活動法律相談：1/17(水)
- 第12回運営委員会、会計と監査の学習会：1/23(火)
- 子ども・子育て支援調査チーム：1/26(金)
- パワーシフト見える化アクションチーム：1/29(月)

### 編集後記

経済産業省が業務効率化に向けて、国会答弁を人工知能(AI)に下書きさせる実証実験を行った。AIに過去5年分の国会会議録を読み込ませ、国会議員の想定質問に対する答弁のポイントを表示させた。しかし、国会では「かけひき」や「はぐらかし」など、様々なやり取りがあるため、閣僚や官僚によるあいまいな発言を理解することが困難だったという。▼「度々」という言葉が流行語大賞になるような政治の世界でも、AIが幅を利かす時代は目前だ。その時、政治家と官僚はAIが書いた原稿を読み合うのだろうか。(C・M)